

1 単元名 魅力たっぷりの船の仕事 ～くらしを運ぶ日本の海運～

2 単元の目標

- (1)日本の人々の生活を支える海運や港で働く人々の仕事に感心をもち、意欲的に調べようとする。
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- (2)船に関わる仕事を追究する活動をとおして、日本の海運の現状や問題を身近なこととしてとらえ、表現することができる。
(社会的な思考・判断・表現)
- (3)グラフや写真などの資料を活用して、我が国の海運の仕組みや役割についての必要な情報を集め、読みとることができる。
(観察・資料活用 of 技能)
- (4)日本の人々の生活を支えるために海運が果たしている役割や、その重要性を理解することができる。
(社会的事象についての知識・理解)

3 子どもの姿と教師の願い

本学級の児童は、社会科の学習に対する関心が高く、話し合いの授業でも多くの子が活発に意見を言うことができている。単元「わたしたちの国土」では、沖ノ島がコンクリートで守られている理由を調べて話し合う活動をとおして、領土を守る重要性や、日本が島国であることへの認識が高まった。本単元では、造船所・自動車運搬船の見学や船長の話聞く機会を設けることで、島国日本への関心をさらに高めたい。そして学習をすすめていくなかで、日本の海運が自分の生活と深く関わっていることに気づき、学習問題を自分事としてとらえて真剣に話し合う姿を期待したい。

4 単元構想 (11時間完了 本時10/11) *支援 【 】 体験学習

船ってどんな働きをしているのだろう① *船の大きさや実際の作業の様子などのイメージをもちやすうように、DVD「日本の海運」を視聴する時間をとる。

- ・日本はかなり多くの食べ物を船で輸入しているんだ
- ・資源がない日本は、原油や鉄鉱石もほぼすべて輸入だ
- ・日本の輸出入の99.7%を船で行っているんだね

輸出入の99.7%が船で行われているのはなぜだろう②③

- ・飛行機よりも燃料費が安いんだね
- ・船での輸送は、他の運び方より環境にいいんだ
- ・大きなものや、大量のものを運ぶのに、船が最適なんだね

*日本海事広報協会や川崎汽船が編集・発行したパンフレットやワークブックを資料として配付し、個々の追究を支える。
*輸送方法としての船の有用性を調べるだけでなく、船である必要性を考えることで、食料や資源を輸入に依存している日本の現状に気づけるようにする。

豊橋の港を見に行きたいな④⑤⑥⑦

【新来島豊橋造船見学】

【自動車運搬船・フォルクスワーゲン本社見学】

- ・多くの人の手作業で大切な船が作られているんだね
- ・自動車運搬船はまるで立体駐車場で船室はホテルみたい
- ・車は傷つかないように工夫されていて、すき間なくのせられていたよ
- ・船員さんだけでなく、造船の仕事も大切な仕事だね
- ・船長さんと船員さんは全員外国の人で、説明も英語だ
- ・こんなに大きな船を動かしてものを運んでいる船員さんすごいな

どんな人が船で働いているのだろう⑧ 【川崎汽船船長講和】

- ・船長さんはかなり収入が高い仕事なんだ
- ・船でしか体験できないことがあることを知ったよ
- ・6か月間も船で過ごすから、家族に会えないし、苦労も多いんだね

*海運の実際の様子について、より身近に感じられるように、大型運搬船の船長をゲストティーチャーとして招き、仕事の内容や、船内での生活など体験談を話していただく。

船員はみりよく的な仕事と言えるか⑨⑩ (本時) 【川崎汽船船長講和】

- ・日本のくらしを運んでいるから、誇りに思える仕事だけど、日本人は減っているね
- ・海外の人に助けられているから、これからも外国との信頼関係を築いていくことが大切だね

*単元のまとめとして海運の現状と課題をとらえるために、再び船長の話聞く機会を設ける。

日本の海運のことたくさんの人に知ってほしいな⑪

- ・ぼくたちの生活を支えている大切な船のこと、新聞にして多くの人に読んでもらいたいな

*海運にかかわる仕事の魅力や、海運の役割と重要性を多くの人に知ってもらうために、今まで学習した内容を新聞にまとめ、多くの人に読んでもらえる場を設定する。

5 本時の学習


(1)目標

- ・話し合いを通じて、日本の海運の重要性と問題点について考え、表現することができる。

(2)準備

教師：円グラフの掲示物 児童：ノート

(3)展開

時間	学習活動	*支援	🐼かかわり合い、見つめ直す	◎評価
	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">船員はみりよく的な仕事と言えるか</p> <p style="text-align: center;">【言える】</p> <p>〈誇り〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の貿易の99.6%は船で行っているから、海運がうまくいかないと、食べるものも自動車づくりも困るよ ・船は日本を支えているんだ ・造船所の人があればがんばってつくった船だから、その船に乗って仕事ができるなんていいな <p>〈収入〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新入社員で400万円～600万円の給料は、家族に話をきいてみたらうらやましいと言っていたよ <p>〈仕事環境〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6か月働けば3か月間休みがもらえるのいいね ・世界中のきれいな景色が見られると犬飼船長さんが言っていたよ 		<p style="text-align: center;">【言えない】</p> <p>〈家族〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6か月間も家族と会えないのはさみしいから <p>〈人数〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本人船員の人数はすごく減っているよ。みりよく的な仕事とは言えないんじゃないかな <p>〈大変〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6ヶ月間ずっと船の上での生活はストレスがたまらんじゃないか <p>〈事故〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・荷物が落ちることもあると犬飼船長さんが言っていたので、人も落ちると思う。命がけの仕事だ 	 <p>*感情的な話し合いにならないように、学習したことや見学したことを根拠に話すよう助言する。</p> <p>*【言える】に意見が集中した場合は、日本人船員が減少しているグラフを指し示して現実を感じさせることで、思考をゆさぶる。</p> <p>*日本人船員が減っている理由に問題意識をもつ子どもがいた場合、次時の調べ学習につなげる。</p>
20	<p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">大変だけど、日本を支えるやりがいのある仕事だよ</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>🐼 このまま日本人船員が少ない状態で大丈夫か</p>			
30	<p style="text-align: center;">【大丈夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見に行った自動車運搬船も全員外国人だったけど、しっかりと車を運んでいたので ・いろんな国の人には英語でコミュニケーションがとれるから 		<p style="text-align: center;">【大丈夫ではない】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本のものを運ぶのに、日本人が少ないのはあまり大丈夫ではないのではないかな ・もしフィリピン人が来てくれなくなったら、もう運べないかも 	
35	<p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">実際はどうなんだろう 船長さんに聞いてみたいな</p>			
45	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ふりかえりをしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船員はみりよく的な仕事だけど、今は昔より人数が減っているの、増えてほしいと思った ・外国の船員もしっかりと仕事はできるけど、外国の人に助けられて日本が成り立っていることを知って驚いた ・外国の人に頼りきりにならないように、日本の中でも海運のことをしっかりと考えていかなければいけない 			<p>◎話し合いを通して、外国人に支えられている日本の海運の現状と問題点に気づき、発言や記述をすることができた。(発言・ふりかえり)</p> <p>*日本人船員の少なさに気づくことができるように、円グラフを見てどう思ったかを問いかける。</p>

